

長期入院中の子どもたちのための 入院から退院後までつながる支援 ～病気の子どもたちが笑顔で帰れる学校へ～

日時：2025年1月25日(土)13時30分

会場：島根大学医学部臨床小講堂（出雲市塩冶町89-1）

参加費：無料

対象者：教育関係者、医療関係者

復学支援に興味のある方(100名程度)



講演 (60分)

1. 「小児がんの現状と課題」

講師：島根大学医学部附属病院小児科教授 竹谷 健氏

2. 「子どもたちと入院生活」～治療中でも学びたい～

講師：島根大学医学部附属病院小児科

チャイルドライフスペシャリスト 黒崎 あかね氏

3. 「学びをつなぐ」～院内学級の役割～

講師：出雲市立塩冶小学校院内学級担任

石飛 佑美氏

基調講演 (60分)

講師：認定NPO法人ポケットサポート代表理事

三好 祐也氏

『多職種連携で行う小児がんの子どもへの復学支援』

主催：小児がん親の会 かけはしの会

共催：島根大学医学部附属病院小児科

後援：島根県 島根県教育委員会 出雲市教育委員会 松江市教育委員会

～基調講演講師紹介～

三好祐也氏

岡山大学 経済学部卒業

同 大学院保健学研究科で病気の子どもの教育環境について研究

2015年認定NPO法人ポケットサポート設立(2018年認定取得)

岡山県・岡山市・倉敷市 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

受託団体

岡山県教育庁特別支援教育課専門家チーム所属

5歳で慢性ネフローゼ症候群を発症し義務教育のほとんどを

岡山大学病院院内学級で過ごす



かけはしの会について

2021年10月に島根大学医学部附属病院小児センタースタッフのご協力のもと、県内で小児がんと闘う子どもたちとそのご家族の支援活動を目的に立ち上げました。突然の病気により患児だけでなくきょうだい、家族の生活は一変します。子供を支える付き添うご家族も不安な毎日を送っています。そのような生活の中でもわずかでも笑顔になれる時間を作りたい、また同じ境遇の家族とつながれる場所になりたいと思い、活動しています。

↓ Instagram



SHIMANE.KAKEHASHI

～今回の講演会の企画理由について～

多くの子どもたちは苦しい治療も元の生活に戻るために頑張っています。戻りたいと思う反面、戻ることに大きな不安を抱えています。国内では年間約2000人、島根県では年間約10人の子どもたちが小児がんの診断を受けていると言われています。そのようなわずかな事例の子どもたちを迎える学校の先生方もまた大きな不安があると思います。先生方に小児がんの子どもたちの入院生活や治療に向かう気持ちなど知っていただくことで不安を和らげることができたら子どもたちがより安心して戻ることができるのではないかと考えこの講演会を企画させていただきました。

申し込み方法

参加希望の方は右記の

Googleフォームよりお申

し込みください。

〈問い合わせ先〉

日下090-2806-2883

<https://forms.gle/Uw8Bp5pqPuCCqJ6h7>



※このイベントは島根県がん対策募金活用事業による助成を受けて実施するものです。
※やむを得ない事情により講演会を中止する場合にはかけはしの会のInstagram、会場での掲示、お申し込みの際のメールアドレスへの連絡によりお知らせします。